

地方大学・地域産業創生交付金（静岡市・静岡県）〈R6年度～R15年度（R10まで国費支援）〉 （駿河湾・海洋DX先端拠点化計画）

概要

- 静岡市・静岡県では、駿河湾の多様なデータから地域の課題解決につなげる“マリンインフォマティクス”により、**主要産業である海洋産業の活性化**に取り組む。
- 静岡理工科大学では、海洋DXコース（修士課程）を新設するほか、静岡大学と共同でマリンインフォマティクス研究機構を設立。東海大学や、その他域内外の大学・研究機関等とも連携して、**海洋DXに関する教育・研究体制を構築**。
- 地元企業が、駿河湾のデータを駆使した**サクラエビの漁業支援システム**や、新たな地域ブランドとして期待される**大型藻類養殖技術**等を確立することで、**地域性を活かした事業を展開**。

活動内容

（プロジェクトの狙い）

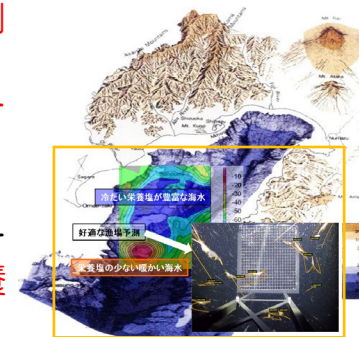
- 静岡市は、海洋関連の産業基盤を持つが、近年は、海洋環境の変化を背景に、漁獲量減少の顕在化や、新たな養殖事業への関心、海洋技術開発のテストベッド需要等への対応が必要。
- そこで、従来は経験値に頼る部分が多かった海洋産業において、**駿河湾における海洋データを駆使することで、新規ビジネス創出に挑め、若者にも魅力のある産業への転換を目指す**。

（具体的取組）

- 静岡理工科大学
 - R7年度に、静岡大学と共同で**マリンインフォマティクス研究機構**を設立。東海大学や、その他域内外の大学・研究機関等とも連携し、駿河湾スケールの**高度な海洋情報基盤の構築や利活用を推進**。
 - R9年度に、**海洋DXコース（修士課程）**を新設。社会人も含め、海洋DXの実現に必要な**データ作成から実習による課題解決までを一貫して習得**できる実践的プログラムを提供。
- 産業
 - 静岡市に拠点を置く鈴与グループや、情報処理、スマート水産にも知見を有するNTTグループを中心に、駿河湾の**サクラエビ等の漁業持続性・効率性向上に資するDX技術、大型藻類養殖技術、新たな海洋観測技術・機器等の開発及び事業化**を目指す。
 - 「しずおか海洋DX研究開発・事業化促進コンソーシアム」による広範な地場企業、次世代のスタートアップ等の参画を促進。



産業・研究機関が集積する清水港と駿河湾



駿河湾マリンインフォマティクス提供情報イメージ

事業責任者：橋本 正洋（一財）マリンオープンイノベーション機構・理事

主な参画機関：（官）静岡市、静岡県（学）静岡理工科大学、静岡大学、東海大学（産）鈴与株式会社、NTTグループ 他

＜令和6年9月時点＞